

若手職員からのメッセージ

採用1年目は九州管区行政評価局（福岡市）で勤務し、2年目以降は、管区局以外にも、事務所、センター等に配属されます。

採用2年目の職員（現在：大分行政監視行政相談センターに配属）に話を聞きました。

Q1.今まで経験した業務について教えてください。

採用1年目は、ジョブローテーションにより、行政相談業務及び調査業務に携わりました。調査業務では、関係法令等について調べた上で、調査対象機関への質問事項を作成し、関係機関へのヒアリングを行いました。上司のサポートの下、1年目ながら1つの機関の調査を担当し、責任とやりがいを感じました。

採用2年目の大分センターでは、県内の行政相談委員の研修や行政相談の広報活動を担当しています。現在は、行政相談委員が開設する相談所を訪問したり、小・中学生や民生委員等に対して行政相談制度の広報をしたりして、委員の皆様に円滑に活動していただけるようにサポートを行っています。

Q2.職場の雰囲気について教えてください。

気軽にコミュニケーションが取れる、風通しの良い職場で、「こんな人になりたい!」と思える先輩職員がたくさんいます。若手職員の意見を尊重してくれるので、意見を出しやすく、主体的に仕事に取り組むことができます。

また、休暇を取得しやすく、テレワークやフレックスタイムも積極的に利用することができるため、ワークライフバランスは充実しています。

Q3.最後に一言お願いします!

幅広い分野に携わりながら行政の改善に貢献することができる点が当局の1番の魅力だと思います。

当局の業務内容に興味を持っていただいた方は、ぜひ業務説明会に参加してみてください!

業務内容の詳細は、当局HPから↓

[行政相談業務](#)



[調査業務](#)



1日のスケジュール

	08:00	自転車での出勤
	08:30	業務開始 新聞、メールの確認
	09:00	委員開設の行政相談所を訪問し、相談対応のサポートを行う。
	12:00	出張先でランチ (ご当地名物を食べにいきます!)
	14:00	帰庁 会議資料の作成 相談対応
	17:15	退庁



若手職員からのメッセージ

九州管区行政評価局の職員は、管区局、事務所、センター等を異動しキャリアを積んでいきます。

当局だけでなく、総務省本省や他府庁での勤務を経験している職員（現在：九州管区行政評価局 評価監視部に配属）に話を聞きました。

Q1.今まで経験した業務について教えてください。

当局（センター含む）や本省での行政相談業務のほか、「国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）（※主にアジア太平洋地域の開発途上国の政府統計職員を対象に統計研修を実施）」において、来日した研修生のサポート、研修業務の補助、会議のロジなどを担当しました。

また、直近では内閣官房内閣人事局に出向し、内閣人事局が主催する研修の総括業務のほか、マネジメント向上担当としてマネジメントテキストの作成やeラーニング研修に携わりました。

Q2.現在はどのような業務を担当していますか。

評価監視部で調査業務を担当しており、現在は、「リチウムイオン電池等の回収・再資源化に関する調査」を実施しています。

本調査は、ごみ処理等における火災防止対策とリチウムイオン電池等の再資源化の促進を目的として、全国的に実施するものです。今は、関係機関へのヒアリングや、ごみ処理施設での現地確認に向けた関連施策等の勉強をしつつ、“最終的な取りまとめの際にどんなピースがあるといいのか、そのためにどんな情報を取ってくるべきか”を自分なりに検討しているところです。

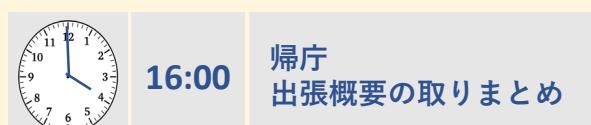
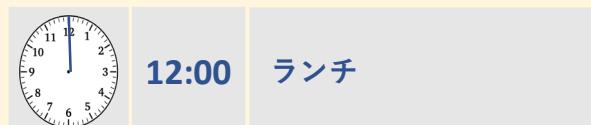
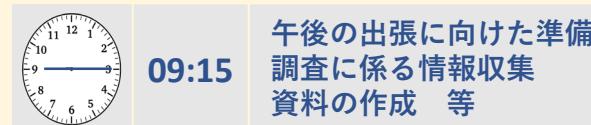
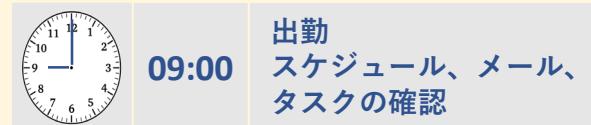
Q3.最後に一言お願いします！

本人の希望や適性等に応じて、本省勤務や他府省等への出向の機会があることも魅力の一つだと感じています。私自身、内閣人事局への出向や国会対応、国際業務は貴重な経験になりました。

大変なこともあります。様々な経験をしたいという方にとって、当局は選択肢の一つになるのではないかなと思います。



1日のスケジュール



業務内容の詳細は、当局HPから↓

行政相談業務



調査業務

